

富士見市市制施行



北原幸男さんの指揮で「富士見ファンファーレ」を演奏する富士見市民吹奏楽団

50周年記念式典開催

閩 総務課 ☎ 049-256-9766

昭 和47年4月に市制を施行してから50年を迎えた4月10日、キラリ☆ふじみを会場に、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、市制施行50周年記念式典を開催しました。

開会にあたり、公募で選ばれた「富士見ファンファーレ」が富士見市文化芸術アドバイザーの北原幸男さんの指揮のもと、作曲者の國分大悟さん（作曲当時高校3年生）と富士見市民吹奏楽団によって初披露され、記念式典の幕明けを迫力のある演奏が華々しく飾りました。



手話を交えて式辞を述べる星野市長

星野光弘市長は「富士見ファンファーレを合図に、これから行われるさまざまな記念事業を通じて市民の皆様笑顔の花を咲かせ、コロナ禍で失われた人と人との絆を取り戻し、輝く未来へ確かな歩みを進めていきます」と式辞を述べました。

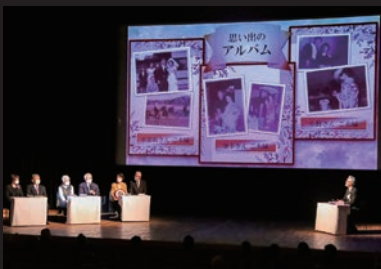
アレクサンドラ・コヴァチュ駐日セルビア共和国特命全権大使をはじめ、埼玉県知事、国会議員、県議会議員、近隣市町長などの皆様をご来賓に迎え、祝辞をいただきました。また、姉妹都市であるセルビア共和国シャバツ市の



表彰を受けるアーティストックスイミング選手の中谷奏空さん

アレクサンダル・パイッチ市長からのビデオメッセージが放映されました。続いて行われた富士見市表彰式では、市政の発展に貢献された方々への表彰状および感謝状贈呈式が行われました（P.6-7参照）。

記念式典の終盤には、今年金婚式を迎えるご夫妻へのインタビュー「金婚さんいらっしやい」のほか、市長が脱炭素社会に向けて2050年までに二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組む「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。閉幕に際し、富士見市民吹奏楽団や勝瀬中学校吹奏楽部による演奏が行われ、記念式典は大盛況のうちに幕を閉じました。



結婚50周年インタビュー「金婚さんいらっしやい」

記念式典のようすは市ホームページなどで公開します。